



公共施設における

多摩産材 使用事例集

ver.6

TAMASANZAI

公共施設における 多摩産材 使用事例集

目次

Contents



- 森林環境税と森林環境譲与税 p.02
- 東京の木 多摩産材は「多摩産材
認証制度」で産地証明 p.02

公共施設多摩産材使用事例写真

- 建築用材（構造材・内装材等） p.03
- 家具・什器等（都立高校での活用事例） p.04～05
- 外構・土木用材等 p.06～07
- 備品・記念品等 p.08

多摩産材利用促進プロジェクト

- 多摩産材利用促進プロジェクトとは p.09～10
- 多摩産材利用促進プロジェクト活用事例 p.11～17
中央区、羽村市、品川区、江東区、中野区、檜原村、武蔵野市、東大和市

東京都の情報発信拠点

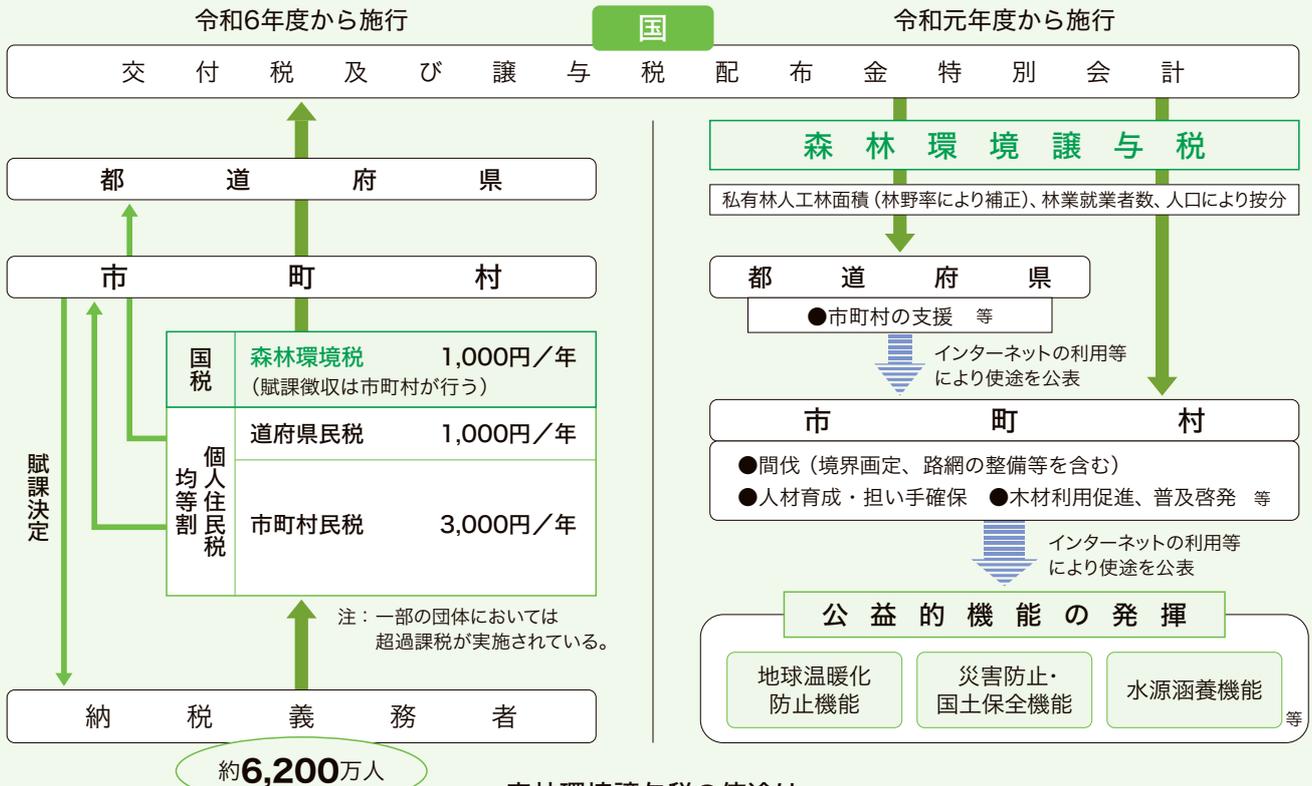
- とうきょうの木魅力発信拠点 TOKYO MOKUNAVI p.18
- 国産木材の魅力発信拠点 MOCTION p.18

※この事例集は、令和4年度に東京都及び都内の区市町村が施工・調達した多摩産材の事例の一部を抽出して掲載しております。



森林環境税と森林環境譲与税

パリ協定の枠組みの下におけるわが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から森林環境税及び森林環境譲与税が創設されました。



森林環境譲与税の使途は

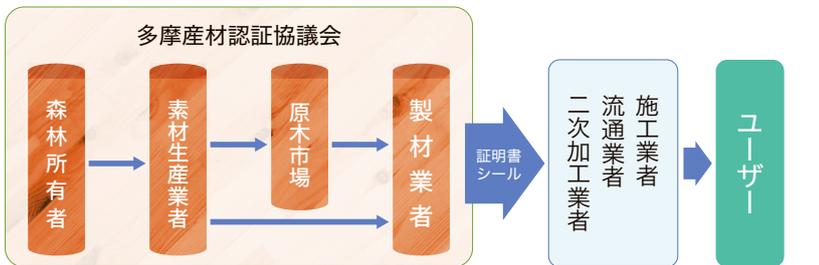
- ①間伐や路網整備といった森林整備 に加え、森林整備を促進するための
- ②人材の育成・担い手の確保 ③木材利用の促進や普及啓発

などに充てることと定められています。(森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第34条)

森林が少ない都市部の自治体では、森林が多い自治体との連携により森林整備を支えるとともに、森林・林業への理解促進にもつながる木材利用や普及啓発等の取組を進めていただくことが考えられます。

東京の木 多摩産材は「多摩産材認証制度」で産地証明

多摩産材認証制度とは



「東京の木 多摩産材」を多くの方に知っていただき、使っていただくために、親しみやすい愛称とロゴを皆さまからの投票をもとに多摩産材認証協議会が決定いたしました。

<ロゴマークのコンセプト>

立方体にも正六角形にも見える図形の中には、TOKYOという文字が隠れています。正六角形はハチの巣や亀の甲羅、雪の結晶など自然界でもよく見られる形。その規則正しく並んだ構造は「ハニカム構造」とよばれ、最も安定した力を発揮すると言われています。立方体はカットされた木材や家作りの際の構造、正六角形からは様々な木材が組み合わさった様子や切り株の断面も連想できます。



[多摩産材情報センター]

多摩産材の製品や使用事例に関する情報は「多摩産材情報センター」にも豊富にそろえております。ホームページご参照のうえ、ぜひお問い合わせください。URL: <https://tamasanzai.tokyo/>

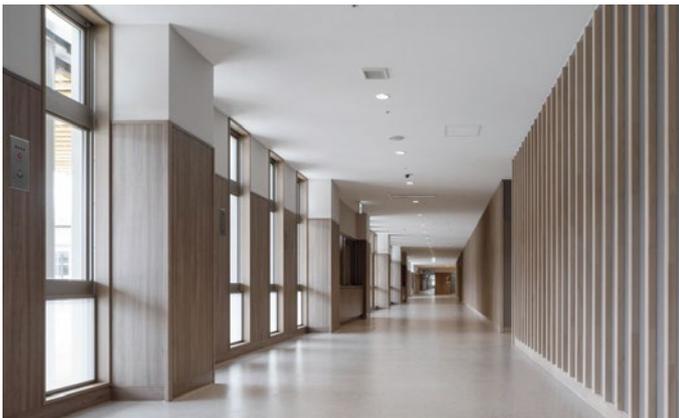


建築用材

構造材・内装材等



文京区立第三中学校 腰壁



東村山福祉園 壁木リブ



東村山福祉園 庇天井ルーバー



東村山福祉園 壁木リブ



東村山福祉園 庇天井ルーバー

家具・什器等

都立高校での活用事例



ベンチ



傘立て



書架



ベンチ

家具・什器等

都立高校での活用事例



下駄箱



下駄箱



教卓

外構・土木用材等



林道工事 木製枠工 (施工前)



木製枠 (正面拡大)



林道工事 木製枠工 (施工後)



治山工事 筋工



治山工事 筋工

外構・土木用材等



木柵 (大島町地内)



丸太防風柵工、竹箐防風垣工 (八丈町地内)

備品・記念品等



八王子市



木製ホワイトボード



木製ホワイトボード(卓上サイズ)

イベントノベルティ

スマホスタンド
スピーカー



マグネット
フック



公共施設への 多摩産材利用促進プロジェクトとは

多摩産材と触れあう場を創出し、更なる利用拡大を図るため、区市町村による「木材利用推進方針」の策定を促すとともに、モデル的な公共施設整備に対して支援し、継続的な木材利用を推進します。

令和5年4月1日現在

事業概要

区市町村が設置または整備する施設において、木材を活用したモデル的な施設整備を支援

1 | 対象施設

区市町村立施設

小・中学校、児童館、図書館、博物館、公園、陸上競技場、体育館、病院、保健センター等

2 | 対象行為等

対象	木材利用推進方針策定の有無	使用木材
木造化、内装木質化、木製什器、木製遊具	必要	多摩産材
木製外構施設 〔木塀、門扉、パーゴラ、ベンチ、デッキ等〕	不要	国産木材 〔うち多摩産材を3割以上使用〕

* 継続した木材利用を促すため、木材利用推進方針を策定した区市町村に対して補助

* 国産木材の利用を促進し、木塀等の設置を加速化するため、外構施設においては要件を緩和

3 | 補助額等

- ・1区市町村あたり上限3,000万円（補助率1/2）
- ・補助対象ごとに多摩産材の使用割合等の条件があります
- ・多摩産材や東京の森林についてのPRを実施する必要があります

令和5年度 制度改定

債務負担行為を設定した2年間の事業についても補助の対象といたしました。事業計画申請を行う前年度に、債務負担行為事業に対する要望申請をすることで、東京都も債務負担行為としての予算手配をいたします。これまでお問い合わせやご要望の多かった複数年の事業について、本補助金事業を活用できる幅が広がりました。

ぜひ、公共施設の整備に「とうきょうの木 多摩産材」の活用をご検討ください。

詳しくは、東京都 産業労働局 農林水産部 森林課 森づくり推進担当 TEL.03 (5000) 7198まで

要綱・要領・事業費補助金交付要綱・申請様式等資料に関して、ホームページにてご確認ください

URL: <https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/ringyou/kiiku/tama/sanzai/kokyo/>



● 支援の対象事業

区分	事業の内容
木造化	建築物の構造材に多摩産材をあらわしで使用する木造建築物 ● 混構造建築物の場合は、木造部分
内装木質化	床、壁、建具等の仕上げ材として多摩産材を使用する内装木質化 ● 多摩産材の使用量は、1㎡当たり0.01㎡以上
木製遊具の整備	多摩産材を使用した定置型木製遊具の整備 ● 多摩産材の使用量は、製品個々に1㎡当たり0.08㎡以上
木製什器の整備	多摩産材を使用した木製什器の整備 ● 多摩産材の使用量は、製品個々に使用される木材の50%以上
木製外構施設の整備	多摩産材をはじめとする国産木材を使用した外構施設の整備 ● 多摩産材をはじめとする国産木材の使用量は、1㎡当たり0.012㎡以上（うち多摩産材の使用割合30%以上）

(注) いずれも、使用する多摩産材等が、日常的に利用者の目に触れられる状態にあること。

● 支援の対象経費

区分	事業の内容
木造化（建築物の構造材として多摩産材を使用する木造化）に係る経費	天井、柱、梁（はり）等の木造工事のうち、多摩産材を構造材として使用する部分の工事費
内装木質化（床、壁、建具等の仕上材として多摩産材を使用する内装木質化）に係る経費	床、壁等の内装工事及び木製建具工事のうち、多摩産材を仕上げ材として使用する部分の工事費 ● 多摩産材の使用量は、1㎡当たり0.01㎡以上
木製遊具の整備（多摩産材を使用した定置型遊具の整備）に係る経費	木製遊具の購入費・組立費・設置費・運搬費・工事費・安全対策費 ● 多摩産材の使用量は、製品個々に1㎡当たり0.08㎡以上
木製什器の整備（多摩産材を使用した木製什器の整備）に係る経費	木製什器の購入費・組立費・設置費・運搬費 ● 多摩産材の使用量は、製品個々に使用される木材の50%以上
木製外構施設の整備（多摩産材をはじめとする国産木材を使用した外構施設の整備）に係る経費	木製外構施設の購入費・組立費・設置費・運搬費・工事費 ● 多摩産材をはじめとする国産木材の使用量は、1㎡当たり0.012㎡以上（うち多摩産材の使用割合30%以上）

(注) ① 補助対象経費は、事業実施に必要な最小限の経費とする。
② 解体・撤去費については補助対象経費に含まないものとする。

多摩産材利用促進プロジェクト活用事例

中央区

中央区の森 案内板・方向指示板等外構設備整備



矢沢地区 方向指示板



矢沢地区 背無しベンチ



矢沢地区 手すり



矢沢地区 背付きベンチ



本宿地区 中央区の森看板



矢沢地区 案内板

多摩産材利用促進プロジェクト活用事例

羽村市

羽村市動物公園内 塀・柵の整備



木柵



木塀



多摩産材PRプレート



動物公園 エントランス



多摩産材利用促進プロジェクト活用事例

品川区

公園遊具の整備



木製遊具



木製遊具



多摩産材PRプレート



公園全景

江東区

公園木製ベンチの整備



木製ベンチ



多摩産材PRプレート

多摩産材利用促進プロジェクト活用事例

中野区

公立小学校の什器整備



角椅子



角椅子



机



多摩産材PRプレート



多摩産材PRプレート



机

多摩産材利用促進プロジェクト活用事例

檜原村

複合公共施設の建設



建屋1階



建屋2階



建屋全景

多摩産材利用促進プロジェクト活用事例

武蔵野市

公園遊具整備



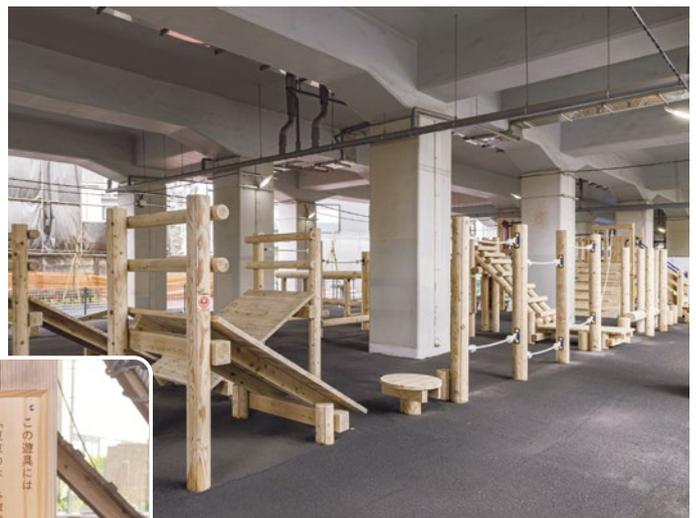
市立わんぱく公園 木製複合遊具



市立わんぱく公園 木製複合遊具



市立中央高架下公園 木製複合遊具



市立中央高架下公園 木製複合遊具



市立中央高架下公園 木製複合遊具



市立中央高架下公園 木製複合遊具

多摩産材利用促進プロジェクト活用事例

東大和市

公園遊具整備



木製複合遊具ウッティサーカス



木製複合遊具ウッティサーカス



木製複合遊具ポンプセスナ



木製複合遊具ポンプセスナ



木製複合遊具ウッティサーカス

東京都の情報発信拠点

とうきょうの木魅力発信拠点 TOKYO MOKUNAVI



令和5年9月15日(金)、とうきょうの木の魅力を発信するショールーム「TOKYO MOKUNAVI」がオープンしました。MOKUNAVIでは、とうきょうの木製品の展示や大画面映像による森林浴体験、多摩地域の森林・林業の紹介等を行っています。多摩の森、とうきょうの木製品の魅力溢れるTOKYO MOKUNAVIに、ぜひお気軽にお越しください！

国産木材の魅力発信拠点 MOCTION



東京都は、木材の大消費地である東京でのさらなる木材利用の拡大に向け、国産木材の魅力発信する拠点「MOCTION (モクシオン)」を開設しております。館長には建築家の隈研吾氏を迎え、東京の木多摩産材を用いたオフィス木質空間のご提案及び全国各地の木材サンプルやカタログ等を用いたマッチングサービスを行っています。また、国産木材の展示スペースを全国各地に活用いただき、各地域と東京を結ぶ商談の機会を広く提供しています。これにより、全国各地の木材利用促進、さらに森林循環へと繋げていきます。ぜひお立ち寄りください。

施設情報

アクセス

〒163-1062 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー
リビングデザインセンター OZONE
・とうきょうの木魅力発信拠点 TOKYO MOKUNAVI 7階
TEL.03-6258-5280
・国産木材の魅力発信拠点 MOCTION 5階
TEL.03-6258-0082

開館時間

10:30～18:30
(休館日: 祝日除く水曜日/夏期・年末年始)

WEBサイト

<https://tokyomokunavi.metro.tokyo.lg.jp/>
<https://moction.jp/>

公共施設における
多摩産材
使用事例集



発行：東京都 産業労働局 農林水産部 森林課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
TEL. 03-5000-7198

石油系溶剤を含まない
インキを使用しています

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

令和5年度作成
登録番号 (5)212